

令和4年度 学校関係者評価のまとめ

【○：肯定評価 ●：課題のある評価 ★：学校としての対応策】

□実施日時 令和4年 2月28日(火) 10時30分 本校校長室

□評価者 学校評議員(学校評議員全体会での学校評価委員会による)

1 学校運営全般(開かれた学校)について

- 新型コロナウイルスの影響により教育活動に様々な制約があるが、学校は保護者や地域に学校の教育活動や生徒の様子について積極的に情報を発信しており、保護者アンケートにおいても高い評価を得ている。
 - ★ 今後も、ホームページや各種便り等の内容の充実を図りながら積極的な情報発信に努め、学校の教育活動について保護者や地域の理解が得られるようにしていく。
- 今年度は新型コロナウイルスの影響はあるが、HP等により子どもたちが生き生きと活動している様子が見える。感染症対策と特色ある教育活動との両立については保護者アンケートで高い評価を得ている。いかに子どもたちを前向きに学校生活を送らせるかが大切である。
 - ★ 今後も状況に応じた感染防止対策を講じて、本校の特色を生かした活動を工夫し、生徒が生き生きと活動する場や活躍する場を確保していく。
- 新型コロナウイルスの影響により、3年連続で保護者に行事や授業を公開する機会が制限されている。可能な範囲で、PTAの活動の場や活動を公開する機会を設けてほしい。
 - ★ 感染症の状況を注視しながら、授業参観のありかた、保護者懇談会のもちかたなどをさらに工夫していく。

2 学習指導等

- 現職教育において「ICTの効果的な活用」をテーマとして取り組んでいる。その中で、「授業を充実させ生徒の学力向上に努めている」、「先生はICTを活用して授業が充実するように努めている」の項目で、アンケートでは保護者・生徒ともに85%以上の肯定的評価をしている。今後も授業の充実に努めてほしい。
 - ★ 「生徒の学力向上のための効果的な活用方法」を目標として、教職員間の情報共有や研修等を充実させていく。
- 「意欲的に学習に取り組んでいる」についての肯定的評価は、保護者、生徒ともに70%を程度であるが、全体としては真剣に学習に取り組んでいる印象を受ける。各種学力調査や学力テストにおいても、平均値は県平均以上の水準である。
 - ★ 学習への本質的な意欲向上のために、授業を通して知的好奇心を高める工夫を一層推進する。自己肯定感を高めさせることにより、自己の活動に自信をもって評価できるようにしていく。

3 生徒指導（心の教育）・教育相談

- 生徒の自己肯定感を高めること、主体性を育てることなど、今年度も学校としての教育ビジョンが明確である。今の時代に合わせて学校の決まりを積極的に見直し生徒の主体性を育てようとする方針も評価できる。子どもたちの成長が期待できる学校運営である。

- ★ 学校と家庭が共通理解を図り連携しながら、次年度は「子どもたちの自己効力感を高める」ことを重点目標として教育活動を進めていく。

- 生徒アンケートにおいて「困ったときや悩みごとがあるときに相談できる先生がいる」の肯定的評価が他の項目よりも低めの結果である。生徒との信頼関係をより一層構築してほしい。

- ★ 当事者の気持ちにより添った対応を重視する。また、生徒・保護者の意識や価値観が多様化していることを十分に踏まえたうえで、自己肯定感を高めるはたらきかけを継続する。

- 不登校の要因が多様化しており、個に応じた指導・支援は困難であるが、本校の現状をふまえて、可能な限り本人および保護者に寄り添った対応を続けてほしい。

- ★ 次年度もSSRが配置されるため、効果的に活用し情報を共有して組織として対応することを継続しながら、個人の状況に応じて学ぶ機会を提供し、社会的自立を促していく。

4 生徒の活動等について

- 生徒アンケートにおいて「学校生活は楽しく充実している」の肯定的評価が約87.5%、保護者アンケートにおいても90%以上である。今後も、子どもにとって魅力ある学校となるよう努力してほしい。

- ★ 学校全体はおおむね落ち着いている。学校生活が楽しいと思える生徒が100%になることを目指して学校運営を行っていく。

- ★ 「自分にはよいところがある」、「自分には将来の夢や目標がある」と回答した生徒は低い傾向がある。各学年に応じた指導や支援のあり方を工夫し、生徒の自己肯定感を高めていきたい。

5 その他のご意見（特色ある教育活動）

- ◇ 体育祭や合唱コンクールなどの学校行事、パラスポーツ体験(共生社会について考えること)、芸術鑑賞教室など、特色ある教育活動は今後も継続してほしい。子どもたちに「感動する機会」をたくさんつくってあげてほしい。

- ◇ 学校の校則を積極的に見直し、時代に応じた教育活動を進めてほしい。管理重視の教育から生徒の主体性や判断力を育てることを重視した教育への転換により、一層学校が活性化し、子どもたちがよりよい成長を遂げることを期待する。